

介護予防・日常生活支援総合事業等の充実のための厚生労働省派遣による市町村支援について

< 葛城市 >

# 参加当初の課題

- C型の対象者の選定方法や評価方法について考えたい
- コロナ禍で3密を避けた「畑」での居場所づくりに取り組んでいるが、他市町村でB型として「畑」で居場所作りに取り組まれている事例はあるか？

→ 包括支援センター、生活支援コーディネーターで参加

## 1回目研修会に参加して…

- こちらが進めたい事業を推し進めるのではなく、住民の「○○したい」という思いからスタートし、その思いを活かせるような取り組みを側面から支援することが大事ということ、生活支援コーディネーター、包括で再確認
- 御所市での移動サービスの取り組みについて知り、生活支援体制整備事業の協議体メンバー、移動サービスに関心の高い住民の方々と見学に！

把握できていない  
助け合いどのくらい  
ある？

移動に困っている人  
はいると思うが、  
どこに？ どれだけ？

アンケートしても  
返ってこないかも…

いっぺん  
やってみたら  
ええねん！！



# アンケートの実施

移動以外に  
どんな困りごとが  
あるか知りたい



一緒に活動してくれる人も  
同時に把握したい

- キーワードは全戸回収ではなく「全戸訪問」。  
対面して聞き取ることにこだわって計画  
(=暮らしぶりを知る)
- 地域住民と協議体メンバーがペアで訪問・回収

# アンケート回収訪問中



# アンケート回収訪問中



# アンケート回収訪問中



# アンケート回収訪問中



# コロナに負けない！屋外の居場所づくり 「畑活（ハタカツ）」プロジェクト

- デイサービスセンターの一画をお借りして、デイサービス利用者さん、地域のお年寄りの方や、地元の民生委員さんと、協議体メンバーが協力して居場所づくりに取り組んでいます。



## 2回目の研修に参加して…

- 住民の声を大事に生活支援コーディネーターとともに活動を進めてきたことを報告。
- 住民が気づきを得る場を積極的に作っていくことが大事だと改めて実感。
- C型についてもアドバイスをもらい、参加者の具体的なイメージや周知方法を知ることができました。

→ 今後、自主運動教室で対象となる人をピックアップする方法を検討していきます。

さらに、C型に新たにパワーアップコースをつくり、内容を充実させ様々な方に参加してもらえよう取り組みを進めます。

畑活プロジェクトの動画を  
ごらんください

